

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	機械可読時代における文字科学の創成と応用展開
研究代表者	内田 誠一 (九州大学・システム情報科学研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、文字の読み取り分野において、十分な研究業績を有している。これまでの実績をもとに、文字が機械可読になったという技術的な動向を踏まえて、新しい視点で文字の機能を、ラベル、メッセージ、デザイン、通信符号という4つに整理し、それぞれの機能に対して、基礎研究と応用展開の課題をまとめた総合的な提案である。</p> <p>デザイン等の応用展開の結実に十分な体制でないことが懸念されたが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>